

○木曾広域連合火災予防条例施行規則

〔平成 11 年 4 月 1 日
規則第 34 号〕

改正	平成 14 年 3 月 5 日	規則第 2 号	平成 22 年 7 月 20 日	規則第 7 号
	平成 18 年 1 月 31 日	規則第 1 号	平成 27 年 3 月 10 日	規則第 3 号

(目的)

第 1 条 この規則は、消防法（昭和 23 年法律第 186 号。以下「法」という。）及び木曾広域連合火災予防条例（平成 11 年条例第 39 号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(職員の所持する証票)

第 2 条 法第 4 条第 2 項及び第 34 条第 2 項の規定により消防長の定める証票は、様式第 1 号のとおりとする。

(火災警報発令の要件)

第 3 条 法第 22 条第 3 項の規定による火災警報は、おおむね次に掲げる気象状況において消防長が必要を認めたとときに発令する。

- (1) 実効湿度が 60 パーセント以下であり最低湿度 40 パーセント以下であって、最大風速が 7 メートルを超える見込みのとき。
- (2) 平均風速 10 メートル以上の風が 1 時間以上連続して吹く見込みのとき。

(たき火又は喫煙の制限)

第 4 条 消防長が法第 23 条の規定により、たき火又は喫煙の制限をするときは、これを告示し、区域内にたき火又は喫煙制限の制札を掲げるものとする。

(変電及び発電設備等の標識)

第 5 条 条例第 11 条第 1 項第 5 号（第 12 条第 2 項及び第 13 条第 2 項において準用する場合を含む。）による標識は、幅 15 センチメートル以上、長さ 30 センチメートル以上で、色は地を白色、文字は黒色とする。

(気球の掲揚場所における立入禁止の標示)

第 6 条 条例第 17 条第 3 号に定める立入を禁止する旨の標示は、幅 30 センチメートル以上、長さ 60 センチメートル以上で、色は地を赤色、文字は白色とする。

(劇場等における禁煙等の標識及び喫煙所の表示)

第 7 条 条例第 23 条第 1 項ただし書の規定による申請は、様式第 2 号により申請しなければならない。

2 条例第 23 条第 2 項の規定による「禁煙」、「火気厳禁」及び「危険物品持込み厳禁」の標識は、幅 25 センチメートル以上、長さ 50 センチメートル以上とする。

3 条例第 23 条第 3 項に定める喫煙所である旨の表示は、幅 30 センチメートル以上、長さ

10センチメートル以上とし、色は地を白色、文字は黒色とする。

(指定数量未満の危険物及び指定可燃物の貯蔵所及び取扱所の標識)

第8条 条例第31条の2第2項第1号(第33条第3項において準用する場合を含む。)及び第34条第2項第1号の規定による標識は、幅30センチメートル以上、長さ60センチメートル以上の板とし、色は地を白色、文字を黒色とし、記載事項は、次の各号に定めるところによるものとする。

- (1) 法第9条の3の規定に基づき、危険物の規制に関する政令(昭和34年政令第306号)で定める指定数量の5分の1以上指定数量未満の危険物を貯蔵し、又は取り扱っている場合「少量危険物貯蔵所」若しくは「少量危険物取扱所」
- (2) 条例別表第8で定める数量以上の指定可燃物を貯蔵し又は取り扱っている場合「指定可燃物貯蔵所」若しくは「指定可燃物取扱所」

(定員表示板及び満員札)

第9条 条例第44条第4号に規定する劇場等の定員を記載した表示板及び満員札は、次の各号に定めるところによるものとする。

- (1) 表示板 幅30センチメートル以上、長さ25センチメートル以上の板で、地は白色、文字は黒色
- (2) 満員札 幅50センチメートル以上、長さ25センチメートル以上の板で、地は赤色、文字は白色

(指定数量未満の危険物及び指定可燃物の貯蔵所及び取扱所の表示板)

第10条 条例第31条の2第2項第1号(第33条第3項において準用する場合を含む。)、第33条第1項第1号ロ及び第34条第2項第1号の規定による防火に関し必要な事項を記載した表示板は、幅30センチメートル以上、長さ60センチメートル以上の板とし、色は地を赤色、文字は白色、記載事項は、次の各号に定めるところによるものとする。

- (1) 可燃性液体類等を貯蔵し、又は取り扱っている場合「火気厳禁」
- (2) 綿花類等を貯蔵し、又は取り扱っている場合「火気注意」

(消防訓練の届出)

第11条 条例第47条の3による届出は、様式第3号によって行わなければならない。

(指定催しの指定)

第11条の2 条例第47条の4の規定により消防長が別に定める要件は、次の各号に定めるところとする。

- (1) 予想される一日の人出が11万人以上の規模のもの
- (2) 主催する者が出店を認める露店等の数が100店舗を超えるもの
- (3) 消防長が人命又は財産に特に重大な被害を与えるおそれのあると認められるもの

2 条例第47の4第3項の規定による

通知は、指定催しの指定通知書（様式 第 3 号の 1）を交付することにより行うものとする。
（屋外における催しの防火管理）

第 11 条の 3 条例第 47 条の 5 第 2 項の 規定による届出は、様式第 3 号の 2 によって行わなければならない。

（防火対象物使用開始の届出書）

第 12 条 条例第 48 条第 1 項の規定による防火対象物使用開始の届出は、様式第 4 号、様式第 4 号の 2 によって行わなければならない。

（火を使用する設備等の設置届出書）

第 13 条 条例第 49 条第 1 項の規定による設置の届出は、次の各号の定めるところにより行わなければならない。

- | | |
|--------------------------------------|---------|
| (1) 条例第 49 条第 1 号から第 8 号の 2 までに定める設備 | 様式第 5 号 |
| (2) 条例第 49 条第 9 号から第 12 号までに定める設備 | 様式第 6 号 |
| (3) 条例第 49 条第 13 号に定める設備 | 様式第 7 号 |
| (4) 条例第 49 条第 14 号に定める設備 | 様式第 8 号 |

（火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為等の届け出）

第 14 条 条例第 50 条の規定による行為の届出は、次の各号の定めるところにより行わなければならない。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| (1) 条例第 50 条第 1 号に定める行為 | 様式第 9 号 |
| (2) 条例第 50 条第 2 号に定める行為 | 様式第 10 号 |
| (3) 条例第 50 条第 3 号に定める行為 | 様式第 11 号 |
| (4) 条例第 50 条第 4 号に定める行為 | 様式第 12 号 |
| (5) 条例第 50 条第 5 号に定める行為 | 様式第 13 号 |
| (6) 条例第 50 条第 6 号に定める行為 | 様式第 14 号 |
| (7) 条例第 50 条第 7 号に定める行為 | 様式第 14 号の 1 |

2 条例第 50 条各号に定める行為のうち消防長が簡易と認める行為については、前項の規定にかかわらず口頭により届け出ることができる。

（指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出書）

第 15 条 条例第 51 条の規定による届け出は、様式第 15 号によって行わなければならない。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 14 年 3 月 5 日規則第 2 号）

この規則は、平成 14 年 6 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 1 月 31 日規則第 1 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成22年7月20日規則第7号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年3月10日規則第3号）
この規則は、平成27年4月1日から施行する。

様式第1号(第2条関係)

(表)

6.0 センチメートル	立 入 検 査 証
	 木曾広域消防本部
8.5センチメートル	

(裏)

この証票は、消防法第4条第2項(第16条の5第3項及び第34条において準用される場合を含む。)に規定する立入検査を行う消防職員が携帯する。

年 月 日交付

交付番号	氏名	生年月日	印

- 備考
- 1 この証票の大きさは、縦5.5cm、横8.6cmとする。
 - 2 地色、地模様は、消防長がその都度定める。

様式第2号（第7条関係）

喫煙所の設置・喫煙

裸火の使用

禁止行為解除に関する申請書

危険物の持込み

	年	月	日
消防署長 殿			
	申請者 電話	()	番
	住所		
	氏名		
	(印)		
指定場所における	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 喫煙所の設置・喫煙 裸火の使用 危険物の持込み </div> をしたいので、火災予防条例第23条第1項 </div>		
ただし書の規定による認定を申請します。			
防火対象物	所在地		
	名称	業態	
認定を申請する行為	期間	年 月 日から	年 月 日まで
	理由		
	内容		
行為者	住所		
	職氏名		
認定を申請する行為をしようとする場所の状況			
消防用設備等の概要			
その他必要な事項			
※ 認定条件			
※受付欄		※経過欄	

- 注 1 ※印の欄は、記入しないこと。
- 2 認定を申請する行為をしようとする場所の詳細図及び当該場所付近の概要図（消防用設備等の配置図を含む）を添付すること。

備考 この様式の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式第3号（第11条関係）

消防訓練届出書

消防署長 殿		年	月	日
		届出者 電話	()	番
		住所		
		氏名		印
訓練日時				
訓練場所				
参加人員				
訓練概要				
備考				
※受付欄		※経過欄		

- 備考 1 この様式の大きさは、日本工業規格 A4 とする。
 2 ※印の欄は、記入しないこと。

様式第3号の1 (第11条の2関係)

指定催しの指定通知書

殿
第 号
平成 年 月 日
木曾広域消防本部
消防長

木曾広域連合火災予防条例第47条の4第3項の規定に基づき、下記催しを指定催しとして指定したので通知します。

記

催しの開催場所	
催しの名称	
催しの開催期間	

教示

この指定に不服がある場合は、指定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に木曾広域連合長に対して審査請求をすることができる。

また、この指定については、指定があったことを知った日の翌日から起算して6箇月以内に木曾広域連合を被告として指定の取消しの訴えを提起することができる。(訴訟において木曾広域連合を代表する者は連合長となる。)

なお、この指定について審査請求をした場合には、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6箇月以内に木曾広域連合を被告として指定の取消の訴えを提起することができる。

様式第 4 号 (第 12 条関係)

防火対象物使用開始届出書

消防署長 殿						年 月 日	
届出者 電話 () 番							
住所							
氏名						Ⓜ	
所在地		電話 番					
名称		主要用途					
建築確認年月日		建築確認番号		第 号			
※消防同意年月日		※消防同意番号		第 号			
工事着手 年月日		工事完了 (予定) 年月日		使用開始 (予定) 年月日			
他の法令による許認可							
敷地面積 m ²		建築面積 m ²		延面積 m ²			
従業員数		公開時間又は 従業時間					
屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水の概要							
その他必要な事項							
※受付欄				※経過欄			

- 備考 1 この様式の大きさは、日本工業規格 A4 とする。
2 ※印の欄は、記入しないこと。

様式第 4 号の 2 (第 12 条関係)

防火対象物棟別概要追加書類

防火対象物棟別概要 (第 号)	用途		構造					
	種別	床面積	用途	消防用設備等の概要				特殊消防用 設備等の 概要
				消火設備	警報設備	避難設備	消火活動 上必要な 施設	
階別	m ²							
階								
階								
階								
階								
階								
階								
計								

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格 A3 とすること。
 - 同一敷地内に 2 以上の棟がある場合には、棟ごとに「防火対象物棟別概要追加書類」(様式第 4 号の 2) に必要な事項を記入して添付すること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 建築面積及び延面積の欄は、同一敷地内に 2 以上の棟がある場合には、それぞれその合計を記入すること。
 - 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 防火対象物の配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書(消火器具、避難器具等の配置図を含む。)を添付すること。

様式第5号 (第13条関係)

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
 給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備 設備届出書
 ヒートポンプ冷暖房機
 火花を生ずる設備・放電加工機

消防署長 殿						年	月	日	
届出者 電話 () 番									
住所									
氏名						⑨			
防火対象物	所在地							電話	番
	名称				主要用途				
設置場所	用途		床面積	m ²	消防用設備等又は				
	構造		階層		特殊消防用設備等				
届出設備	設備の種類								
	着工(予定)年月日					竣工(予定)年月日			
	設備の概要								
	使用する燃料・熱源・加工液	種類			使用量				
安全装置									
取扱責任者の職氏名									
工事施工者	住所							電話	番
	氏名								
※受付欄					※経過欄				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 - 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 階層欄には、屋外に設置する設備にあつては、「屋外」と記入すること。
 - 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
 - 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
 - 火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあつては、使用量欄には1時間当たりの入力を記入すること。この際、電気を熱源とする設備にあつては、1キロワットを860キロカロリーに換算すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 当該設備の設計図書を添付すること。

様式第6号(第13条関係) 燃料電池発電設備
 発電設備
 変電設備 設置届出書
 蓄電池設備

消防署長 殿						年	月	日	
届出者 電話 () 番									
住所									
氏名						印			
防火 対象 物	所在地							電話	番
	名称					用途			
設置 場所	構造			場所			床面積		
				屋内 (階) 屋外					
	消防用設備等又は 特殊消防用設備等			不燃区画	有・無	換気設備	有・無		
届出 設備	電圧	V	全出力又は定 格容量	KW AH・セル					
	着工(予定)年月日		竣工(予定)年月日						
	設置の 概要	種別	キュービクル式 (屋内・屋外) ・その他						
主任技術者氏名									
工事施工者	住所							電話	番
	氏名								
※受付欄				※経過欄					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 電圧欄には、変電設備にあっては一次電圧と二次電圧の双方を記入すること。
 4 全出力又は定格容量の欄には、燃料電池発電設備、発電設備または変電設備にあっては全出力を、蓄電池設備にあっては定格容量を記入すること。
 5 届出設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
 6 ※印の欄は、記入しないこと。
 7 当該設備の設計図書を添付すること。

様式第7号（第13条関係）

ネオン管灯設備設置届出書

消防署長 殿		年 月 日
届出者 電話 () 番 住所 氏名		⑩
防火 対象 物	所在地	電話 番
	名称	用途
届出 設備	設備容量	
	着工(予定)年月日	竣工(予定)年月日
	設備の 概要	
工事 施工者	住所	電話 番
	氏名	
※受付欄		※経過欄

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 - 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 届出設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
 - 4 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 5 当該設備の設計図書を添付すること。

様式第8号（第13条関係）

水素ガスを充てんする気球の設置届

							年	月	日
消防署長 殿									
							届出者 電話	()	番
							住所		
							氏名		
							Ⓜ		
設置請負者	住所		電話						番
	氏名								
看視人氏名			他 名						
設置期間	掲揚	自		至					
	けい留	自		至					
設置目的									
設置場所	地名地番								
	地上又は屋上の別		用途		立入禁止の方法				
充てん又は作業の方法		日時					場所		
		方法					ガス置場		
構造	気球	型			直径		材質		
					体積		厚さ		
	揚鋼		材質				太さ		
	電飾	電球の定格電圧				灯数		配線方式	直列・並列
電球の種類						断面積			
総重量							その他 必要事項		
支持方式	掲揚								
	けい留								
※受付欄					※経過欄				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 - 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 4 設置場所付近の見取図、気球の見取図及び電飾の配線図（電飾を付設するものに限る。）を添付すること。

様式第9号（第14条関係）

火災とまぎらわしい煙又は火炎
を発生するおそれのある行為 届出書

消防署長 殿		年 月 日	
		届出者 電話 () 番	
		住所	
		氏名	㊟
発生予定日時	自 年 月 日 時 分	至 年 月 日 時 分	
発生場所	町村		
燃焼物品名及び数量			
目的			
その他必要な事項			
※受付欄		※経過欄	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 - 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 その他必要な事項欄には、消火準備の概要その他参考事項を記入すること。
 - 4 ※印の欄は、記入しないこと。

様式第 10 号 (第 14 条関係)

煙火 打上げ・仕掛け 届出書

消防署長 殿		年 月 日	
		届出者 電話 () 番	
		住所	
		氏名	㊟
打上げ 予定日時	自 年 月 日 時 分		
仕掛け	至 年 月 日 時 分		
打上げ 場所	町村		
仕掛け			
周囲の状況			
煙火の種類及び数量			
目的			
その他必要な事項			
打上げ・仕掛けに直接従事する責任者の氏名			
※受付欄		※経過欄	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 - 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 4 その他必要な事項欄には、消火準備の概要その他参考事項を記入すること。
 - 5 打上げ、仕掛け場所の略図を添付すること。

様式第 11 号 (第 14 条関係)

催物開催届

消防署長 殿		年 月 日	
届出者 電話 () 番		住所	
氏名		Ⓜ	
防火対象物	所在地		
	名称	本来の用途	
使用箇所	位置	面積	客席の構造
		m ²	
	消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要		
使用目的			
使用期間	年 月 日～ 年 月 日	開催時間	時 分～ 時 分
収容人員	名	避難誘導及び消火活動に従事できる人員	名
防火管理者の氏名		映写技術者	氏名
			免許番号
その他必要な事項			
※受付欄		※経過欄	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 - 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 4 使用する防火対象物の略図を添付すること。

様式第 12 号 (第 14 条関係)

水道 (断・減) 水届

消防署長 殿		年 月 日	
届出者 電話 () 番		住所	
氏名		印	
断 減 水予定日時	自 年 月 日 時 分	至 年 月 日 時 分	
断 減 水区域	町村		
工事場所			
理由			
現場責任者氏名			
※受付欄		※経過欄	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 - 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 4 断・減水区域の略図を添付すること。

様式第 13 号 (第 14 条関係)

道路工事届

年 月 日						
消防署長 殿						
届出者 電話 ()						番
住所						
氏名						⑩
工事予定日時	自	年	月	日	時	分
	至	年	月	日	時	分
路線及び箇所						
工事内容						
現場責任者氏名						
※受付欄				※経過欄		

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 - 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 4 工事施行区域の略図を添付すること。

様式第 14 号 (第 14 条関係)

溶接溶断作業届

消防署長 殿		年 月 日	
		届出者 電話 () 番	
		住所	
		氏名 ⑩	
防火対象物	所在地		
	名称	業態	
作業場所			
作業期間	自	年	月 日 時 分
	至	年	月 日 時 分
作業概要			
火災予防の措置及び 消防用設備の概要			
作業責任者住所氏名			
工事責任者住所氏名			
その他必要な事項			
※受付欄		※経過欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
 2 ※印の欄は、記入しないこと。

様式第 14 号の 1 (第 14 条関係)

露店等の開設届出書

年 月 日		
消 防 署 長 殿		
届出者		
住 所		(電話)
氏 名		印
開設期間	自 年 月 日 至 年 月 日	営業時間 開始 時 分 終了 時 分
開設場所		
催しの名称		
開設店数		消火器の 設置本数
現場責任者氏名	(電話)	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
- 2 法人又は組合にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 露店等の開設場所及び消火器の設置場所に係わる略図を添付すること。
- 4 ※印の欄は、記入しないこと。

様式第 15 号 (第 15 条関係)

少量危険物 貯 蔵
指定可燃物 取扱い
届出書

年 月 日				
消防署長 殿				
届出者 電話 () 番				
住所				
氏名 (印)				
貯蔵又は取扱い の 場 所	所在地			
	名称			
類、品名及び最 大 数 量	類	品名	最大貯蔵数量	一日最大取扱数量
貯蔵又は取扱方 法 の 概 要				
貯蔵又は取扱場 所の位置、構造 及び設備の概要				
消防用設備等又は 特殊消防用設備 等 の 概 要				
貯蔵又は取扱い の開始予定期日 又 は 期 間				
その他必要な事項				
※受付欄			※経過欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 貯蔵又は取扱いの場所の見取図を添付すること。

様式第 16 号 (第 15 条関係)

少量危険物 貯 蔵
指定可燃物 取扱い
廃止届出書

消防署長 殿				年 月 日
届出者 電話 () 番				
住所				
氏名				Ⓜ
貯蔵又は取扱い の 場 所	所在地			
	名称			
類、品名及び最 大 数 量	類	品名	最大貯蔵数量	一日最大取扱数量
貯蔵又は取扱方 法 の 概 要				
貯蔵又は取扱場 所の位置、構造 及び設備の概要				
消防用設備等又は 特殊消防用設備 等 の 概 要				
廃 止 年 月 日	年	月	日	
廃 止 理 由				
※受付欄			※経過欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
3 ※印の欄は、記入しないこと。